まくはり
Baytown News
第 80 号（2004 年 1 月 1 日号）
幕張ベイタウンニュース編集局

# 新春恒例　第七回年男年女撮影会
## at マリンフォート展望台

あけましておめでとうございます。今年の「年男年女撮影会」はベイタウンでもっとも海に近い街「マリンフォート」の 19 階展望台からお届けします。

今回の撮影会は写真をみてわかる通り、12 歳の年男年女がたくさん集まってくれました。クラスで撮影会のことを発表し、仲間を集めて参加してくれたそうです。感謝感謝。おかげで若い街ベイタウンを象徴する、元気のいい写真が撮れました。

マリンフォート 19 階からの眺望はすばらしく、東京湾を眼下に見て、都心の高層ビルや東京湾横断道路の海ホタル、さらには富士山や丹沢の山並みが一望できます。ベイタウンの新名所になること確実！！

マリンフォート展望台から臨むベイタウンの街並み。18 番街角の丸い建物がヨーロッパ都市の新旧市街を分ける城門のように見える。

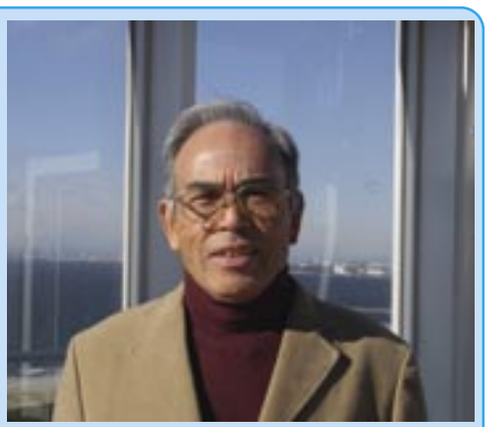
**親子で参加した　大慈弥るり子さん、レイさん**

昨年、私（るり子さん）は市のテニス講習会に参加しました。全くの初心者だったんですが、受講者でサークルを作って、新しい友だちと週 1 回テニスを楽しんでいます。今年も新しいことを始めて自分の世界を広げたいですね。

今、私（レイさん）はジュニアタイムスの記者をやっています。子どもの中から自分たちが興味のある話題を取り上げられるところが面白いです（現在、ベイタウンの珍しい苗字を探しているところだとか）。今年は、ピアノを頑張りたいと思っています。

**野田重敏さん（10 番街在住）**

ベイタウンに来て 8 年目。すぐに水泳を始めて、昨年は日本マスターズ水泳選手権 100m リレーで金メダルをとることができました。11 月には年輪ピック徳島大会で 25・50m 自由形で自己新！今年はさらに自己新をめざすとともに、400m の完泳に挑戦したい。また、年輪ピックのグランドゴルフの部に予選を通過して参加したいと思っています。社会的なことでは、イラクに平和がくること、北朝鮮拉致家族が日本で一緒に暮らせること、日本経済の回復を願っています。



# 交通問題検討プロジェクト短信（最終報告）

12月13日（土）に第5回のプロジェクト会合が実施された。今回が、あらかじめプロジェクトで設定された活動期間最後の打ち合わせであり、プロジェクトとしての最終提言をまとめて自治会連合会へ提出する期限となっていた。

会合ではまず、前回提示された事務局案（ベイタウン内速度制限30Km、富士見通り・打瀬北通り・プロムナード入口の駐車禁止化、主要交差点へのポールの設置。本誌11月号参照）に対する各街区での検討結果が各街区を代表する者から報告された。当然のことながら、全会一致とは行かなかったが、大方の意見は「30Km制限は原則賛成。ハンプの設置など物理的抑制も必要。地区限定の駐車禁止は実効性に疑問があり、無条件賛成はしがたい（注：一部の街区は無条件賛成）」といったところだった。

この報告をベースとして参加者全員で議論が進められたが、その中での方向性は、「何らかの最終案に一気に進んでしまって本当に良いのか。特に、法規制をかけてしまったり、ハード的な変更を道路に加えてしまったら、後戻りはできなくなる。やはり、段階的な実行が必要だろう」ということになった。

30Km速度制限については、基本的にはやる方向だが、当面は自治会連合会交通委員会を中心としたベイタウンとしての「自主規制（ベイタウンとして30Km走行の街宣言を行い、住民自ら行動として示す）」や、ハンプの設置などスピードが出にくい仕組みに向けた関係各署（企業庁、千葉市、市役所など）との調整を進める。また、路上駐車対策についても、「何がいけない、どこがいけない」かという点を明確にした「自主規制」案を作り、自治会連合会から何らかの宣言をしてもらい、これに反する駐車車両に対する声かけのしやすい体制作り（警察・連合会公認の指導員や貼り紙準備など）を進めるとともに、これまで各街区任せであったコーンや駐車禁止看板の設置（場所・方法）について、何らかの統一基準を設け、ベイタウンとして一貫性のある迷惑駐車・危険駐車対策をすることが確認された。合わせて、事務局案にもあった、危険であり、道交法違反でもある交差点内への駐車ができないようにするポールの設置や、公共駐車場の整備などの物理的対策についてもやはり関係各署との調整を進める。なお、ポールの設置について、企業庁では1交差点100万円程度かかるという予算の面で難色を示していると聞いていたが、参加者からはもっとずっと安い市販品もある、との情報も寄せられた。

会合の最後に、プロジェクトマネージャーである佐藤総一氏より、「事故の起きない安全な街とすることを最優先課題としてこれまで活動してきた。プロジェクトとしての最終目標であった、具体的実行案策定までは至らなかったが、ステップを踏んでやっていくことについては合意が取れたと思っている。今後、プロジェクトとしての提言としてまとめ、自治会連合会に提出し、２月から３月にかけて、企業庁方針と合わせてより具体的な実行案に落としていく。このプロジェクトとしては本日で解散するが、その時点で再度このプロジェクトに集まって頂いた皆さんに声を掛けて相談することになるのでよろしくお願いしたい。これまでご協力ありがとうございました。」との言葉で締め括られた。

仕事も家庭もある中で、休日のみならず、平日にまで幾度も関係各署との打ち合わせに出向き、ここまでプロジェクトを引っ張ってきた佐藤さんの意志・行動力には本当に頭の下がる思いだ。今後は、速度制限、路上駐車対策何れも、先ずは自分達でできることをやって、その結果を見て次の段階に進むことになる。「自分達でやる」と言うのは簡単だが、実行するのは大変なことというのは、これまでの自治会活動を見ても明らかだ。実際、これまで長年に渡る交通委員会の活動にも、積極的に参加してくれた住民は限られた一部の人たちでしかなかった。これから、いかに多くの協力者を集められるか、今度はベイタウン住民にとっての正念場だ。 **【板東】**

（交通問題に関するご意見は、kotsu-project@egroups.co.jp まで）

---

**小学生記者が校長先生にインタビュー**

## ２学期制になったら学校はどう変わるの？

千葉市が学校２学期制を来年から導入。このニュースがマスコミで流れたのは夏休みが終わった９月初旬だった。「学校が２学期制になったら、僕らの生活はどう変わるのだろう。夏休みが短くなったりしたら困るな。学校の授業時間も変わるのだろうか」。ベイタウンジュニアタイムズきっての社会派記者、伊丹君（海浜打瀬小５年生）は知りたがっていた。だが周りの大人に聞いても詳しいことはだれも知らなかった。不思議だったのは、誰も詳しいことを学校に聞いたり、調べたりしようとしないことだ。３学期だったのが２学期になるのは、大変なことだと思うし、みんなも知りたいことだろう。彼はこのことを調べてジュニアタイムズで記事に書いてみようと思った。学校に聞くのは勇気がいるけれども、ジュニアタイムズでもいいテーマだと言われて伊丹君はやってみることにした。

インタビューを受けてくれたのは海浜打瀬小学校の星校長先生。取材は冬休み前の12月17日の放課後、校長室で行われた。インタビューには、すでに来年からの２学期制に向けて時間割を考えている三浦先生（教務主任）も同席してくれた。伊丹君の質問は２つ「どうして、来年から学校を２学期制にするのか」と「２学期制になったら今までとどう変わるのか」。

「最初はどうしてこのことを調べたいと思ったかを言おうと思ったけれど、とても緊張してしまった。でも校長先生と三浦先生は、２学期制がはじまると１学期の終わりが10月の体育の日の連休前になり、夏休みの前に通信簿をもらうのではなくなることや、今まで学期の終わりにあった短縮授業が少なくなり、学校ごとにいろいろちがったことができる時間が増えることを詳しく教えてくれた。また、２学期制は千葉市でも幕張南などで今年実験でスタートしていて、その結果分かったいいことなども紹介してくれた。他にも２学期制になって変わることを沢山聞いたが、それはジュニアタイムズに書きたい」

「２学期制になったら、今までよりいいことが増えるように思った。校長先生や三浦先生が、２学期制にすることで学校をよくしようと思っていることがよく分かった」とインタビューの後、伊丹君は言っていた。

質問のテーマにしていた、「２学期制になったらどう変わるのか」は具体的な時間割なども聞かせてもらいよく分かったようだ。一方、「どうして来年から２学期制にするのか」については納得できたようには見えなかった。しかしインタビュー後の彼の笑顔は、むしろ２学期制への期待がそんな疑問をふき飛ばすほど大きかったことを物語っているようだった。

今回のテーマは、本来ベイタウンニュースで取材し、記事化すべき内容だと思ったが、伊丹君の取材に便乗して同席取材し、取材の模様を記事にするというスタイルをとった。インタビューに同席して思ったのは、今回伊丹君が感じたような２学期制への期待や夢を、子供たちや保護者が持つことができるよう、学校は地域に伝えてもらいたいということだった。 **【松村】**

**1/18（日）**

**ロックの祭典　Rock Core 2004**
**13:30～（開始時刻は調整中）**
**ベイタウン コア（ホール）入場無料**
主催：ベイタウン中年バンド
出演：ベイタウン中年バンド、Mix Jam、RIKO II、SUKIMA BAND、PaPaBAND（スペシャルゲスト）

## CORE CALENDAR January 1月のコア

**1/25（日）**

**『ファツイオリを弾く会』**
**18：00～20：30**（いつもと時間が違います）
**コアホールにて**
出場ご希望の方は、阿曽（211）0273　までお申し込みください。

**1/31（土）**

**寺子屋工作ランド**
**10：00～**
**コア講習室**
**「でんでん太鼓」と「竹トンボ」です。**

**打瀬公民館健康講座「ストレスと病気について」**
**15：00～16：30**
**コアホール**
**定員：成人50人　無料**
講師：渡辺滋氏（うたせメディカルクリニック院長）鈴木明氏（市川神経科クリニック院長）
◆申込み：電話または直接公民館へ。打瀬公民館 296-5100

**申込みの締め切り迫る！**

**受付期間：平成16年1/6（火）～1/20（火）**
「女性学講座」～自分探しへのいざない（全3回）

**受付期間：平成16年1/6（火）～1/16（金）**
「2歳児の子育て講座」～子育てをみんなで考えよう（全6回）
□受講手続き：往復はがきに希望講座名（1つ）と氏名（お子さんも）・住所・年齢・電話番号を記入し、各受付最終日（必着）までに下記送付先にお申込みください。
〒261-0013　千葉市美浜区打瀬2-13
千葉市打瀬公民館　TEL.043-296-5100
※詳しくはベイタウンニュース12月号をご覧ください。

図書館より臨時休館のお知らせ

**美浜図書館打瀬分館は、蔵書点検のため平成16年1/27（火）～2/5（木）まで臨時休館します。**
**1月の休館日は1～5日、12、13、15、19、26～31日となります。**
なお、みやこ図書館・稲毛図書館・若葉図書館・花見川団地分館・あすみが丘分館も、1/27～2/5まで休館しますのでご注意ください。
◆磯辺・幸町・幕張西・さつきが丘・検見川・長作・朝日ヶ丘・幕張・越智・誉田、各公民館図書室については、1/27（火）～2/2（月）が臨時休館です。

---

### チェスキーナ洋子さんがコアに来訪

さる11月29日、コアのピアノファツイオリを購入する際、多額の支援をしていただいたイタリア在住のチェスキーナ洋子さんが、ベイタウンコアを訪問した。当日は、コア・ホールで行われていた「コーラスの集い」のリハーサルを楽しまれた後、アトリウムでファツイオリ購入にかかわった関係者20人ほどが出席し、ささやかながら「感謝する会」が開かれた。

チェスキーナさんはご自身も東京芸術大学出身の元ハープ奏者。イタリア在住後も世界の音楽文化活動を支援しつづけている。

コアで紹介をうけるチェスキーナ洋子さん（写真中央）

### ベイタウンで爆発事故？

11月9日午前10時頃、打瀬小学校に隣接する打瀬第一緑地とCPEの間の道路上で、ゴミ収集車が走行中に、回収したゴミの中に混入していたと見られる卓上コンロ用ガスボンベ5～6本が爆発し、煙が出るという事故が発生した。消防車がすぐに到着し消火作業を行ったため大事には至らなかったが、周囲の路上には蛍光灯のガラス片などが散乱し、大量の煙に一時ベイタウンは火事発生かと騒然とした。

ベイタウンはゴミ空気輸送システムがあるため、ゴミ分別について関心が薄くなりがちだが、ガスボンベの処分にはガスを抜くのが常識。

### 「二ーハオ！幕張@中国伝統芸能祭」開催

12月13日（土）、幕張ベイタウン・コア音楽ホールでまくはり京劇クラブによる中国伝統芸能祭が開かれた。当日は同クラブによる京劇寸劇「打抱不平」（弱きを助け、強きをくじく、中国版セーラームーン？）の他、中国の伝統楽器「中国琵琶」、「二胡」の演奏も披露され、ベイタウン内外から集まった約150人の聴衆を魅了した。

幕張京劇クラブ（代表：渡邉賢司さん、20番街在住）はベイタウン住民で構成され、習志野市在住の京劇家、魯大鳴（ルー・ダーミン）氏の指導のもと、発足1年でこの公演を成功させた。市民による京劇クラブの公演は国内でも珍しいという。

# B-Information

## 恒例！　もちつき会のお知らせ

あけましておめでとうございます。
青少年育成委員会では、恒例となりましたもちつき会を以下の日程で行います。

日時　　：平成 16 年 1 月 11 日（日）　11:00 ～ 14:00（雨天決行）
場所　　：ベイタウン・コア
参加費　：無料（飲み物、焼き芋の販売も行います）
参加申し込み：
当日 10:30 ごろから受け付けます。
先着 1,000 名です。

回を重ねるごとに参加者も増え、昨年は予想を上回る約 1,000 名の参加者がありました。今年も昨年同様にうすを 6 臼用意しました。みなさんお誘い合わせの上、ご参加をお願いいたします。特にもちつきをやっていただける男性（もちろん女性も）は大歓迎です。

みなさんぜひ参加していただき、県内最大のもちつき会（自称）を楽しみましょう（写真は昨年）。

青少年育成委員会
レクリエーション部　鎌形

## 都市基盤整備公団入居者募集のお知らせ

キャンペーン期間中（1/5 ～ 3/31）オープンルーム公開中！
都市基盤整備公団では、幕張ベイタウンの賃貸住宅で先着順受付を行っております。

パティオス　７番街　　JR「海浜幕張」駅徒歩 10 分又はバス 7 分徒歩 3 分
パティオス１５番街　　JR「海浜幕張」駅徒歩 13 分又はバス 5 分徒歩 1 分
パティオス２０番街　　JR「海浜幕張」駅徒歩 15 分又はバス 5 分徒歩 3 分
ミラリオ　　JR「海浜幕張」駅徒歩 16 分又はバス 6 分徒歩 1 分
ミラマール（第 1 次）　JR「海浜幕張」駅徒歩 16 分又はバス 5 分徒歩 4 分
＊先着順で受付を行っているので、ご希望の間取りが契約済みの場合があります。

（公団賃貸住宅のメリット）
１．敷金以外の礼金・更新料が不要です。
２．単身の方から大型ファミリー向けまでタイプが揃っています。
３．住まいも安心規格。
４．保証人も不要です。
５．社宅利用も可能です。
（一部団地を除く）

詳しくは下記までお問い合わせください。
＜お問合せ先＞
幕張ベイタウン　インフォメーションセンター
TEL：043-272-0017
営業時間：10:00 ～ 17:00
定 休 日：水曜日
パティオス 20 番街現地案内所（102 号室）
TEL：043-276-3653
営業時間：10:00 ～ 17:00
営 業 日：土曜日･日曜日･祝日のみ
津田沼案内所
TEL：047-478-3711
営業時間：9:30 ～ 18：00
定 休 日：水曜日･祝日　土曜日･日曜日も営業しています。
（キャンペーン期間中は祝日も営業しています）
インターネットでもお申込ができます。
http://sumai.udc.go.jp/

UDC URBAN DEVELOPMENT CORPORATION
都市公団

**「地球交響曲」（ガイアシンフォニー）という映画をご存知ですか？**

この地球で生き、生かされているものは皆つながっている、ひとつの生命体であるというメッセージを持った映画です。打瀬の子供たちとその育ちに関わっている隣人とこの気持ちを分かち合いたいと思い、ベイタウンで上映会を開きたいと願っています。その実現のために賛同・協力していただける方を求めています。どこかでこの映画を見る機会があって、ご賛同いただける方ぜひご連絡ください！
ホームページ：
http://www.gaiasymphony.com/
代表連絡先：工藤　043-213-0705・
cpefmaririn@yahoo.co.jp

## 編集後記

■皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。今年はベイタウンにとっては、どんな年になるのでしょうか？街開き１０周年を翌年に控え、次の１０年への準備の年となるのでしょうか？私自身も興味を持って、今年１年をお伝えしていこうと思います。
板東司 (#1-210/T&F211-0289/tbando@m2.pbc.ne.jp)

■昨年も何とか 1 号も休まず発刊できました。個人としてもエントの庭づくり、京劇と活動が広がり、ベイタウンを見る視点も知り合いも増えました。今年はぜひとも新しい編集部員を迎えてパワーアップしたいと願っています。それにしても、毎月ニュースの配布を手伝ってくださっているサポーターの方たち、スポンサーに感謝！どうぞ今年もよろしくお願いいたします。
佐藤則子（#3-310/T&F211-0090）

■学校に通って約 11 年。初めて冬休みの宿題が年内にほぼ完了。量は半端ではなかったですけど…。今年はいよいよ三年生。ここまであっという間に過ぎました。残りの生活も十分に楽しみながら、最大の壁の大学受験も頑張っていきたいです。
富川真希

■あけましておめでとうございます。
毎月みなさまのお宅にポスティングされるベイタウンニュースは商業紙ではありません。記事の執筆や、紙面の編集、できあがったニュースを配布するのもすべて住民ボランティアの力で行われています。皆さんのご協力がなければ、ニュースを維持してゆくことはできません。どうぞ皆様のご協力をお願いします。
毎月のベイタウンニュース配布にご協力いただける方は、コアでの配布会（毎月第一土曜日、午前 10:00 から）に直接ご参加いただくかご連絡ください。また､情報をお持ちの方､スポンサーになってくれそうな企業をご紹介いただける方は、下記宛ご連絡ください。本年もみなさまの暖かいサポートをお願いいたします。
松村守康（#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)

Who's Who Vol.33

シータワー在住

# 落合　清さん

今年最初のWho's Ｗｈｏはシータワーにお住まいの落合清さん、63歳。会社に勤めているが、ベイタウン内で色々な活動を時間のある限り精力的にやっている。いつも感心させられる落合さんの活動力や普段は見えない顔をインタビューした。

ベイタウンに住む前は真砂に20年ほど住んでいた。引っ越して一年ほどたったころ、ベイタウンにシニアクラブが発足したのですぐに入会しイベントの企画を担当することになった。人前で話したり、書き物をしたりするのはあまり得意じゃない。でもみんなが嬉しい顔をすると自分もすごく楽しくなる。みんなが喜ぶことがしたい。落合さんの活動力の原点はここにある。シニアクラブではメンバーとお花見や紅葉狩り、ビール工場の見学や芋煮会を企画した。やがてコアができ、その活動はシニアクラブ内にとどまらず、大きく広がることになった。500円玉ひとつで気軽に聴ける「ワンコイン・コンサート」を企画し、シニアだけでなく沢山の人に喜んでもらえた。8番街の辻さんが中心になってはじめた「コーヒーコーナー」はコアのイベントには欠かせないものだが、落合さんはこのコーナーの名「マスター」だ。落合さんがカウンターに立つと、沢山の人の輪ができる。

一年ほど前から、合唱も始めた。もともと音楽は好きで、コアができ歌ったりする機会ができて良かったと言う。「クラシックとか聴いてると眠くなっちゃうけど、歌うのは本当に楽しい」と笑いながら話してくれた。コアが出来てたくさんの人と出会い、音楽をやることができ、コア設立に携わった人に心底感謝してる、ここで得たものは自分の大きな財産になった。

海外旅行が大好き。フランス、ハワイ、中国、そして去年は韓国にも行った。外国語が得意なのか、と聞くと全くダメという。でも本やビデオを見て知識は豊富。パリには一人で行き隅から隅まで見てまわった。どこにでも行ってみたい・何でも見てみたいという好奇心旺盛な若い性格が落合さんにはある。周りからはよく、「落ち着きがないな」と言われるそうだが、それでも好きだからやっちゃうと苦笑い。

最後にこれからやりたい事を聞いた。今の活動はもちろん続けてやっていきたい。その半面、若い人たち次の世代にもつなげていきたい。いつまでも自分だけがやるんじゃなくて、上手く引き継ぎ回転させ、もっと大勢でやってみたい。それから、お年寄りを助けていきたい。この街にはシニアクラブに入ってないお年寄りもたくさんいる。お年寄りが楽しく暮らせるベイタウンにしたい。それは裏返せば、自分にとってもということになる。ベイタウンに越してきた人の中には、マンションだから近所付き合いを気にしないでいいという人もいるだろう。でもベイタウンはちょっと特殊だから、この独特の空気をもっとたくさんの人と楽しんでいきたいと話していた。

全部含めてこういう活動がないと、生きてないかもなぁー！と言った落合さんの言葉はとても元気な大きな声で、その元気の良さが何だか可笑しくて、いつまでも私の心に残っていた。　**【富川】**

コーヒーコーナーでマスター姿の落合さん（写真中央）

こども・まち・がっこう　シリーズ Vol.18

# 緑で学校をつつみたい　海浜打瀬小学校

海浜打瀬小学校の付近を歩いていると、いつも学校の周りで草や木を手入れしている女性に出会う。海浜打瀬小学校の川畑先生（用務）だ。学校で花をつくるのは珍しいことではないが、それにしてもとても手入れに念が入っている。地味が豊かでない土の質を変えようと、周りの落ち葉を集めては小さな花壇に敷き込んでいる。自然に囲まれた学校とは言い難いベイタウンの学校に小さな隙間を見つけては、花を植えている様子は、かつて打瀬中学校で学校を花で埋め尽くした渡辺元校長先生を思い起こさせ、なつかしくなってお話を伺った。

海浜打瀬小学校は、緑を育てることに熱心な学校だ。開校当時、赤土がむき出しの中庭では子供たちが畑を作ることもできないと、土の入れ替えを要望した星校長先生の逸話は有名だ。開校２年目に赴任してきた川畑先生の、学校を緑でいっぱいにしたいという気持ちは、星校長先生の考えとも一致し、学校内の小さな空き地を見つけては花を植える作業がはじまった。だが、何もない埋め立て地に作られた学校には「すき間」という図面上では無駄なスペースはほとんどない。そのうえ、海に近い海浜打瀬小には強烈な潮風が吹きつける。辛うじて風の来ない中庭は、ビルの谷間となって日当たりが悪く花も野菜も生育がよくない。仕方なく川畑先生は、日当たりのよい校庭に「すき間」を見つけて「落ち葉の敷き込み」作業を行うことにした。落ち葉を腐葉土にして、赤土や砂混じりの土を変えようという計画だ。

最初は中庭の日当たりのいいところでプランターを使って花の苗を育て、ある程度大きくなってから校庭に移植していた。しかし、海浜打瀬の海風は強かった。やっと見つけた校庭の日当たりのいい場所も、運動場の砂が風で吹き寄せられてとてもパンジーなど観賞用の花は育たない。落ち葉を敷き、腐葉土で土をよくしても風で花は痛めつけられてしまう。

そう考えていた川畑先生は、ある日打瀬中学校で強い風の中でも育っている草花を見つけた。「ツワブキ」だ。校門付近の日当たりの悪いところでも、緑の大きな葉を広げ活き活きと育っている。よく見ると、学校の周りの少しばかりの空き地に「ハーブ」や「キンケイソウ」などもしっかり根付いていた。これらは渡辺元校長先生が、同じように風の強い打瀬中学校でも育つ植物はないかと試行錯誤して育てたものだ。話を聞くうちに、「デイジー」、「ムラサキツユクサ」、「セイヨウツキミソウ」などが打瀬でも育つことがわかった。今まで失敗していた「ナノハナ」も、渡辺先生は風の向きを考え、うまく咲かせていた。パンジーのように色とりどりのきれいな花ではないが、これらの花には冬を耐える強さが感じられて、子供たちが育つ学校にはいい花かもしれない。

これからの３学期は北西の風がつよく、日当たりも悪いが海浜打瀬小学校での緑づくりにも、少しだが光が見えてきた。しっかり土を作って、春には新しく風に強い花を植えてみよう。

そんな川畑先生から、ベイタウンのみなさんにお願いがあるという。みなさんのベランダで不要になった園芸用の土やプランターがあれば、小学校で欲しいそうだ。川畑先生あてに持ってきていただければ、引き取っていただける。花の種などもあればうれしい。処分するなら是非お願いします（連絡先：海浜打瀬小学校、川畑先生　TEL211-0330）。

**【松村】**

# 人に優しい乗り物は、街創り 100 年の計

**平和交通は 21 世紀の交通網として路面電車（LRT）を提案します。**

フランス・シュトラスブール市街の LRT（写真は横尾矗氏：
URL http://park2.wakwak.com/~tram/ 世界路面電車めぐりより）。

ヨーロッパの各都市では、最近 10 年ほど自動車の公害や都市の渋滞から街を再生させるため、高加速 , 高減速，低騒音，超低床の LRT（Light Rail Transit）を都市交通に使っています。

**人が移動したいというニーズに対し、安心で快適なサービス提供することを通じて社会に貢献したい。**

**LRT（路面電車）実現への意見をお寄せください。**

**連絡先　〒 263-0054　千葉市稲毛区宮野木町 577-1**

**平和交通　経営企画室　宛**